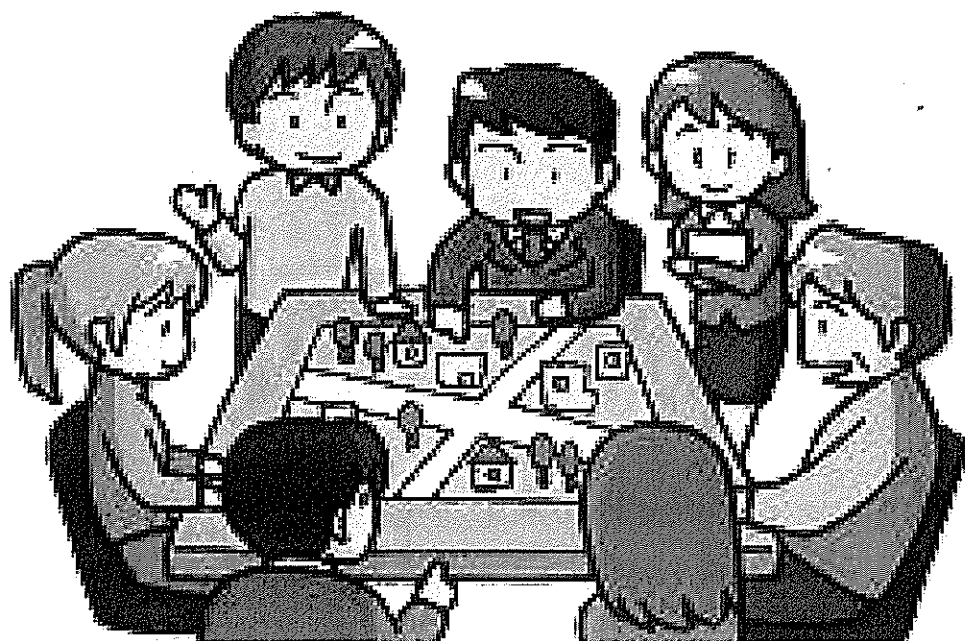


# 柿野地区

## 地域計画書

=みんなが安全で、安心して暮らせる町、柿野=



柿野住民自治協議会

## 目 次

1. 地域計画書改正にあたって	1
2. 柿野地域の概況	2
	～8
3. 柿野住民自治協議会組織	9
4. 基本方針	10
I 自治会部会(地域のめざす姿、現状・課題、活動(事業)計画)	10
	～11
II 環境福祉部会(地域のめざす姿、現状・課題、活動(事業)計画)	12
III 教育文化部会(地域のめざす姿、現状・課題、活動(事業)計画)	13
IV 事務局(重点目標、活動(事業)計画)	14
5. 柿野地区「地域計画書」策定までの経過	15
	～16

## 1. 地域計画書改正にあたって

平成 17 年 1 月 1 日一市四町が合併し「新松阪市」がスタートして早くも 15 年が経過しました。

私たち市民が主役となって地域の個性や特色を生かした住民本位の町づくりが必須となり地域を一番知っている私たち自身が自ら考え自立していく町づくりが始まり、概ね小学校単位として、平成 24 年 4 月市内全て(43 住民協議会)が立ち上がりました。

当協議会は、平成 23 年 3 月に推進委員 70 名出席の中設立総会が開催され満場一致で同意されました。

当面は地区単位として、横野支部、深野支部活動に分け町づくりを展開してまいりましたが、5 年目を迎える平成 27 年度からは、支部活動を無くし、一本化して各事業を運営すると共に年間の事業計画を立てるだけでなく、中長期の計画を策定して、将来私たちの町が「住みやすい地域」を目指すため、地域計画策定委員会を立ち上げ「地域計画書」づくりに着手しました。

策定委員で、地域住民の意見、要望、課題等を反映させるためのアンケートを実施し中学生以上の方に回答を頂きました。

皆様のご意見を集計分析させて頂き「柿野地区地域計画書」を策定しました。

策定してから早くも、5 年が経過しましたので、一部見直しを行いました。

当計画書を基に” 夢のある柿野、住んでいて楽しい柿野、いつまでも住みたい柿野” を目指し会員一丸になって一步一步踏みしめていきたいと思ひます。

今後も、変わらず柿野住民協議会にご理解、ご協力をお願いします。

令和 2 年 4 月

柿野住民自治協議会会長 稲葉 丈治

## 2. 柿野地域の概況

柿野地域(柿野住民自治協議会)は、横野地区(7自治会)、深野地区(8自治会)で、構成されており、松阪市の西部に位置し、櫛田川、深野川、仁柿川が流れ自然豊かな地域である。

地形は平地に恵まれず、傾斜地に集落を形成しているところが多い。

飯南町が発足した昭和30年代は、水稻、茶、養蚕、紙漉き、炭焼き等が盛んな地域であり又、1戸に1頭の役牛を肥育している農家が多かった。

時代の流れと共に、昭和40～50年代に地域の若者は都市への流出が目立ち始め農業で生計を立てられなくなり、追々と農業離れとなっていった。

しかしながら、平成になって文化拠点施設「飯南産業文化センター」が建設され現在は、理想的な文化活動が展開されている。

更に、白猪山南麓にひらけ、美しい溪流、澄んだ空気、櫛田川が生む朝霧等の抜群の環境の中、世界のブランド「松阪牛」が育つとも知られ同時に、全国棚田百選に選ばれた「深野だんだん田」等が地域の名声である。

他、国登録文化財、県指定文化財、県指定伝統工芸品、史跡・名勝等を持つ豊富な地域である。

### ①人口

令和2年2月1日現在

	管内住民自治協議会				飯南管内		備考
	柿野	仁柿	粥見	有間野	人口	比率	
15歳未満	126	22	224	23	395	8.7%	
15歳～64歳	682	225	1,166	157	2,230	49.3	
65歳以上	619	230	910	143	1,902	42.0	
	1,427	477	2,300	323	4,527		

### ②世帯数

令和2年2月1日現在

	管内住民協議会				飯南管内		備考
	柿野	仁柿	粥見	有間野	世帯	比率	
高齢世帯数 65歳以上	120	45	179	33	377	19.0%	
独居世帯数 65歳以上	144	83	243	42	512	25.8	
総世帯数	598	235	984	167	1,984		

③教育

令和2年2月1日現在

	柿野小	仁柿小	粥見小	有間野小	柿野中	粥見中	飯南中	合計	
昭和 31年	420	234	586	125	352	382		2,099	
平成 17年	94	32	126	20			187	459	合併直前
26年	84		122				134	340	
令和 2年	85		94				100	279	

④空き家

平成30年3月8日現在

	管内住民自治協議会				飯南管内		備考
	柿野	仁柿	粥見	有間野	空き家	老朽化	
平成 空き家 25年	41	30	21	18	110		
平成 空き家 30年	87	49	98	27	261		

④管内がん検診結果

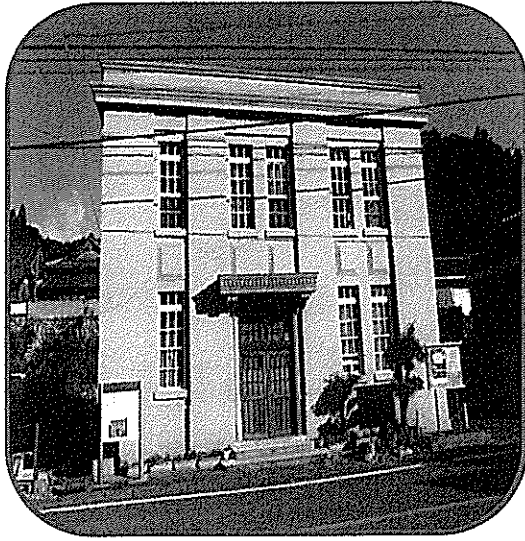
	40歳以上 男女	受信者数(前年度 比較)										
		胃					肺	大腸	子宮	乳		前立腺
		カメラ	バリウム	エコー	マンモ							
柿野	1070	75(+3)	54(-12)	177(-4)	172(-21)	33(-9)	35(-3)	33(-18)	22(-1)			
仁柿	385	24(-1)	17(-7)	49(-3)	59(-6)	13(-2)	6(-3)	16(+5)	6(-4)			
粥見	1646	118(+30)	77(-15)	251(-9)	253(-20)	61(+2)	61(+9)	50(-25)	35(-5)			
有間野	233	20(+7)	11(-6)	47(-1)	49(+4)	5(-2)	8(+0)	9(-1)	5(+0)			

	40歳以上 男女	受信率(受診者数/人口)×100										
		胃					肺	大腸	子宮	乳		前立腺
		カメラ	バリウム	エコー	マンモ							
柿野	1070	7	5	16.5	16	4.8	5.1	5.7	9.4			
仁柿	385	6.2	4.4	12.7	15.3	5.7	2.6	8.1	7.5			
粥見	1646	7.2	4.7	15.3	15.4	5.7	5.7	5.7	9.7			
有間野	233	8.6	4.7	20.2	21	3	4.9	7.2	8.8			

●文化財

① 国登録有形文化財

☆ 旧飯南郵便局舎



昭和7年(1932)に建てられた郵便局舎である。柿野郵便局として開設され、平成元年まで利用されていた。和歌山街道(横野地区)に面して建ち2連の縦長・上下の窓を開け局舎として、簡素で堅実な外観である。

柿野地域の中でも、いち早く建てられた鉄筋コンクリート造のモダンな建物で地域の近代化の歩みを示すものである。

現在は個人の所有「和み」と名付四季をとおして数々のイベントが開催され多くの人を訪れている。

② 国登録有形文化財

☆ 佐野家住宅(主家・小蔵・石垣・土塀)

江戸時代後期より、近年まで薬種問屋薬局を営み、地元では、「佐野すい香堂」の屋号で知られている。

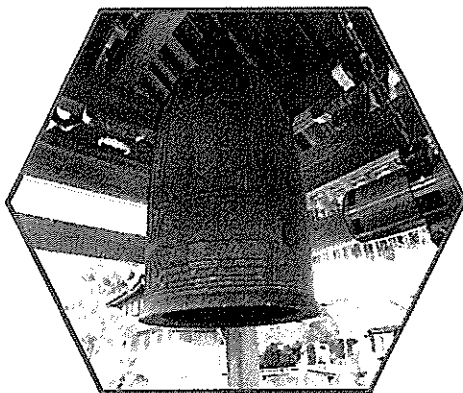
敷地はほぼ東西に流れる櫛田川の北片平行する、和歌山街道に面している。

周辺状況からもともと傾斜地であった個所を平坦に削平したと考えられ、その東・北西辺は石積みで土留めされ、石積み上部はそれぞれ土塀ないし生垣で画されている。



③ 三重県指定文化財

☆ 来迎寺の銅鐘



永禄11年(1568年)越前国鞍谷長屋村の鋳物師藤原 朝臣三郎兵衛尉(あそんさぶろうひょうえのじょう)の作。

口径55cm、高さ96cm、

越前国「山王権現社」(現=福井県越前市)に奉納されていたが後に、愛知県足助町八幡宮へ移り廃仏しやくの時、来迎寺26世祥譽上人(26せしょうよししょうにん)が桑名で購入したものである。

④ 三重県指定伝統工芸品

☆ 深野和紙

慶長4年(1599年)野呂俊光によって導入され深野地区の農閑期に現金収入を得る。

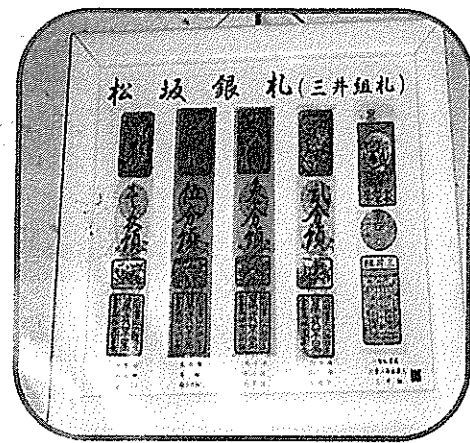
副業として盛んになり、江戸後期・文政6年(1823年)から、紀州藩の藩札「御用紙」を漉き、名声を高めていたが昭和30年頃から漉き家が姿を消していった。

その技術を保存しようと昭和62年(1987年)6月「深野和紙保存会」を結成。

平成4年(1992年)和紙和生センターが建設

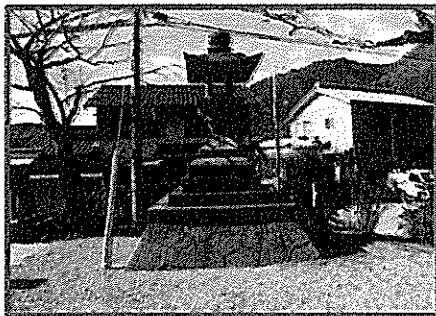
ここを拠点として晩秋から早春にかけて15名の会員が活動している。

特に近年は、町内の児童・生徒達、会員の指導により自分たちの「卒業証書」の、紙漉に取り組んでいる。

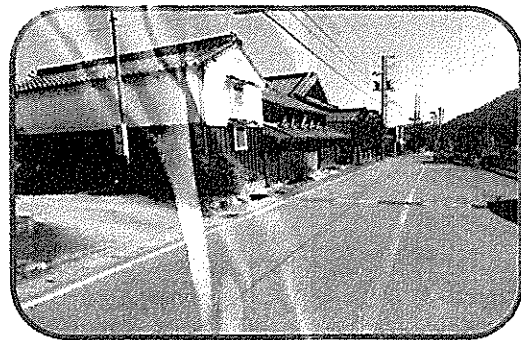


●和歌山街道

☆ 「横野村の常夜灯」



大西～中西付近「せったい」



江戸時代、紀州の殿様が江戸と和歌山を行き来するのに、使った道で紀州藩の公道として宿場や駅馬が整備された。

当地域の横野、深野の集落を通り抜ける。

当時の横野村、現在の横野4番組地内市道と交差する角に、1830年に建立されたと言われる「常夜灯」があった。

明治38年の道路拡張の際、柿野神社境内に移された。

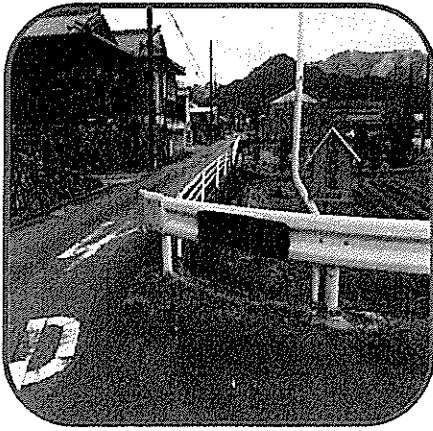
宮立型、高さ4,5m基礎の一辺3m、花崗岩で造られた、均整のとれた造形美を持つ。正面に天下泰平、裏面には、五穀成就、左側に大神宮、右側に天保元年 庚寅(かのえとら)十二月 吉辰(きつしん)と、彫り込まれている。

台石には、是より宮川迄七里半横野村・・・とある。

又、当街道を行き交う旅人が一休みしたところが、深野大西～中西にかけての街道筋であり、ここを「せったい」(接待)とも、呼ばれていた。



●伊勢本街道



飛鳥から、奈良時代にかけて開かれて来た大和と伊勢を結ぶ街道として古くは、丹生(現在=多気町勢和)の水銀を都ら運ぶ道として又、近世は伊勢への参宮道として運ぶ道として又、近世は伊勢への参宮道として歴史を刻んできた道でもあり、当地域の横野、深野の集落を通り抜ける。

多くの人が列をつくり、奈良、大阪方面から仁柿峠を越え、「のぼり」を掲げ、伊勢神宮へのお参りする光景がよく見られる。

●世界のブランド松阪牛

当地域の深野は、「松阪牛」肥育の主産地である。選び抜かれた但馬牛の子牛を櫛田川、雲出川宮川流域(旧22市町村)で約1000日育てた牝牛であり又、旧松阪肉牛生産者の会会員の元で肥育され「松阪牛個別識別管理システム」登録されている。

美しい溪流と、澄んだ空気、水はけ良い斜面等に肉牛の肥育には最適な環境の中、丹精込めて育てられている。しかしながら、肥育農家も高齢化と共に、後継者不足となり、肥育農家が少なくなっているのが現状である。

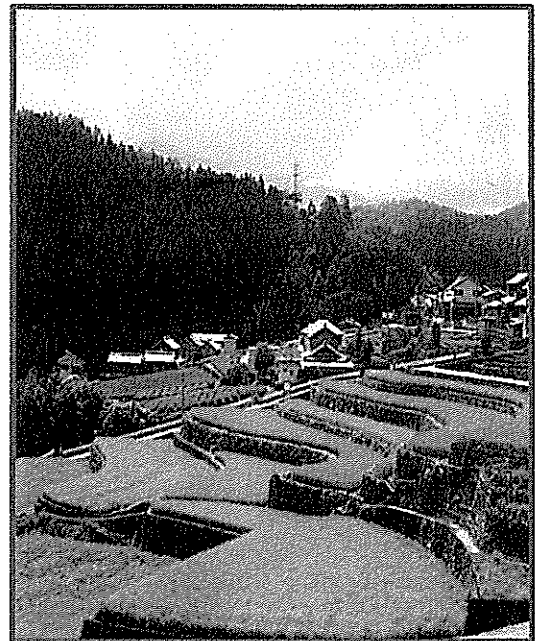
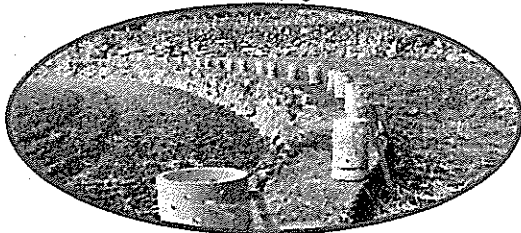


●深野だんだん田

深野だんだん田は、平成11年日本棚田百選に認定された。棚田は、室町時代初め(500年前)から白猪山系の斜面を、下から切り開いて造っていったのではないかと考えられている。

石の個数は推定約300万個面積は35ha、120段とも言われ幾たびにも織りなす風景は正に石の芸術です。

近年、秋に「棚田まつり」と称し、約4000個の竹行燈を灯し、内外から1000人以上の観光客が光の列に酔いしれます。



●白猪山

標高818m

伊勢3山の1山である。

山頂には、「石尊大権現」がまつられている。

4月第2日曜日は大祭が執り行われ大勢の人

で、にぎあう。

他、四季をとおして、ハイキングコースとしての登山客も多い。



●伝統

① 廻り地蔵



横野7番組では、昔から伝わる「地蔵さん」を各戸に廻してお参りしている。地蔵さんは木製で60cm方角の厨子に納められている。記年も無く、起こりについて分かる文書もないが、江戸期頃から、始まっているらしい廻って来た家では、厨子を仏壇横に置き、水、ご飯、野菜等お供えして

4～5日から1週間程お参りして次の家へ廻していく。

地元では、子安地蔵とされ、昔からこの地区では、難産の人は少ないと、言われている。

② どんど火

昔から、子ども中心の伝統行事として受け継がれている。

小正月に行われる火祭りとしたが、最近では子どもが減り

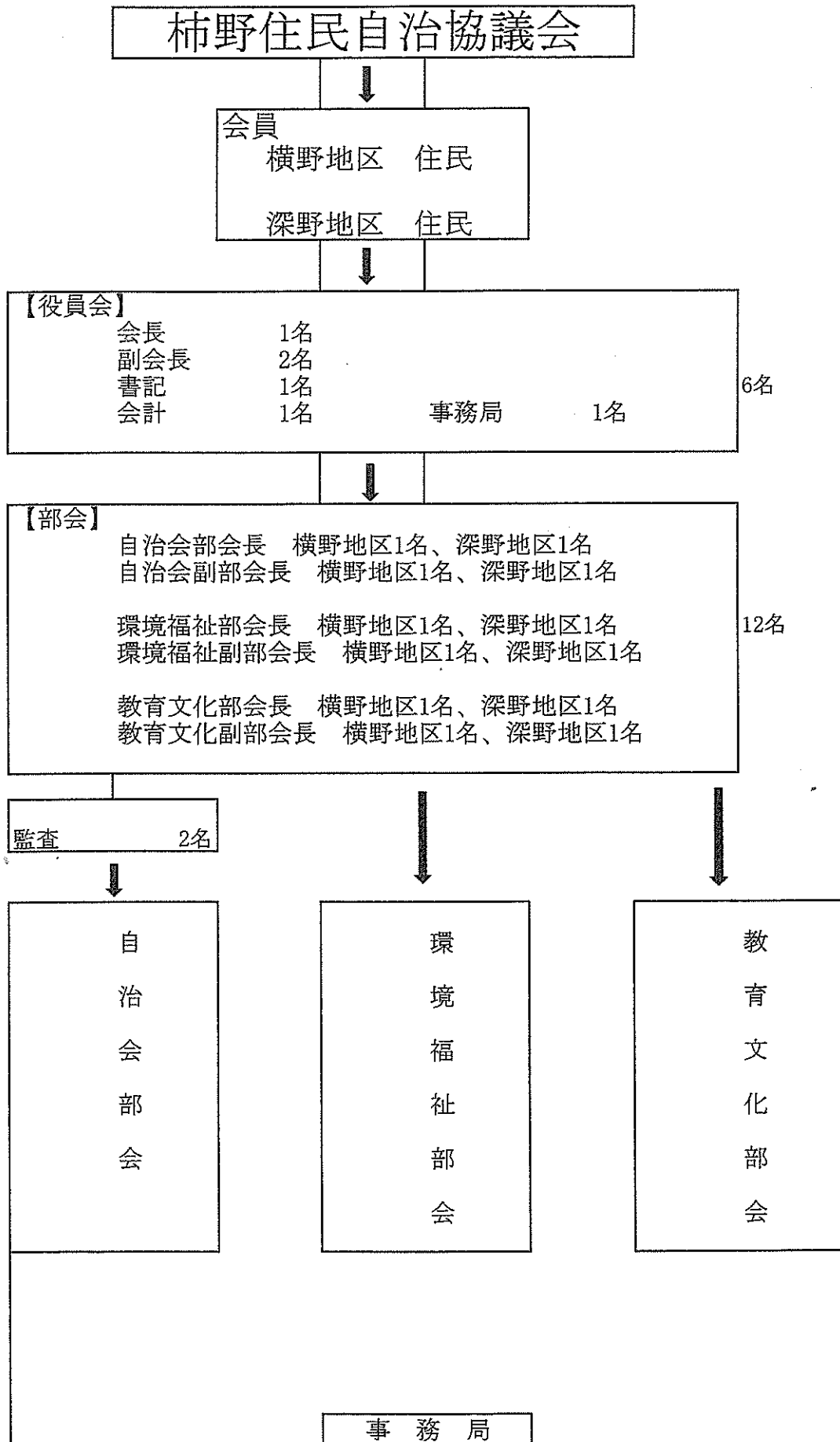
自治会の行事となり、毎年1月第2日曜日に行われる。

古いしめ縄、お守り札、正月飾り等燃やし、

お餅を焼き、食べて今年1年の無病息災を祈る。



3. 柿野住民自治協議会組織



#### 4. 基本方針

## みんなが安全で、安心して暮らせる町、柿野 ～夢のある柿野、住んでいて楽しい柿野、いつまでも住みたい柿野～

### I 自治会部会

#### ☆地域のめざす姿

- ①元気で健やかに自分らしく暮らせる町づくり
- ②交通事故のない安全な町づくり
- ③徹底した自主防災・防犯確率の町づくり
- ④安心して外出できる町づくり
- ⑤地域交流のある町づくり
- ⑥みんなが助け合って農地の荒廃をなくす町づくり
- ⑦農地を獣害から守る町づくり

#### ◆現状・課題

- 1 「住民協議会」の存在が浸透していない
- 2 イベントを実施したとき参加者が少ない
- 3 交通安全の啓発、地域防災の取り組みの必要性
- 4 推進委員に女性が少ない
- 5 自主財源が皆無
6. 獣害による農作物の被害
7. 遊休地や荒廃農地の増加
8. 所有者が居住していない農地が荒れ放題
9. 仕事(勤め)をしながら、田畑を守っていけない

#### ◆活動(事業)計画

1. 現状・課題の解消
2. 空家の有効活用  
(空き家の巡回)
3. AED講習会開催
4. 防犯灯、掲示板の推進
5. 夜の外出時の反射タスキの啓発
6. 災害に対する各自意識改革
7. 非常時、消防団への協力とボランティア的活動
8. 各自治会が管理する消防ホース点検
9. 住民協議会をより発行(年2～3回)
10. 防災訓練、防災講演会開催
11. 基本協定に関する活動
12. 荒廃農地を減らす運動
13. 農地等草刈り活動
14. 獣害対策先進地の研究(視察)
15. 野菜づくり研修

表中

実施主体

- ・《地域＝地域住民で出来る事》
- ・《協働＝地域住民と行政が協働して行う事》(地域協働で進めるべき事)
- ・《行政＝行政が主としてやるべき事》

実施時期

- ・《短期＝すぐにするべき事又、2年以内にすべき事》(令和2～3年度)
- ・《中期＝おおむね2～5年ですべき事》(令和3～6年度)
- ・《長期＝5年以降でよいもの》(6年度以降)

◆活動(事業)計画

活動(事業)名	実 施 主 体			実 施 時 期		
	地域	協働	行政	短期	中期	長期
1 現状・課題の解消	○	○		→		
2 空家の有効活用 (空き家の巡回)	○	○		→		
3 AED研修会	○	○		→		
4 防犯灯・掲示板 の推進	○			→		
5 反射タスキの啓発	○			→		
6 災害に対する 各自意識改革	○	○		→		
7 非常時消防団への 協力	○	○		→		
8 自治会が管理する 消防ホースの点検	○	○		→		
9 住民協議会たより 発行	○			→		
10 防災訓練・防災 講演会	○	○		→		
11 草刈り活動	○	○		→		
12 野菜づくり研修	○	○		→		
12 基本協定に関する 活動	○	○		→		

備 考	① → 継続的に実施する。 ② 他の部会との連携を図る。
-----	---------------------------------

II 環境福祉部会

☆地域のめざす姿

- ①福祉が充実して、健康で安心して暮らせる町づくり
- ②恵まれた環境を守る町づくり
- ③ごみのない美しい地域の町づくり
- ④お互い助け合いの町づくり

◆現状・課題

- 1. 道路、川に家庭ごみが多く投棄されている
- 2. 人家が散在している地域は、高齢者の安否確認が難しい
- 3. 現在は大丈夫だが5年先が不安
- 4. 身体が不自由になった時不安
- 5. 生活の中で次の支援があつたらいいと思う
- ①草取り、草刈り ②庭木の剪定 ③大掃除
- ④ゴミを集積所へ運んでほしい
- ⑤便利屋さんのサービス

平成30年6月  
第三包括ニーズ  
調査結果

◆活動(事業)計画

- 1. 現状・課題の解消
- 2. 健康管理体操
- 3. 健康ウォーキング
- 4. 健康食料理教室
- 5. 敬老事業
- 6. 花いっぱい運動
- 7. ごみ拾い運動
- 8. 高齢者見守り声かけ運動
- 9. 地域清掃事業
- 10. 健康講演会事業
- 11. 柿野支援隊結成

活動(事業)名	実施主体			実施時期		
	地域	協働	行政	短期	中期	長期
1 現状・課題の解消	○	○		→		
2 健康管理体操	○	○		→		
3 健康ウォーキング	○	○		→		
4 健康食料理教室	○			→		
5 敬老事業	○			→		
6 花いっぱい運動	○	○		→		
7 ゴミ拾い運動	○	○		→		
8 高齢者見守り運動	○	○		→		
9 地域清掃事業	○			→		
10 健康講演会事業	○	○		→		
11 柿野支援隊結成	○	○		→		

備 考	① → 継続的に実施する。 ② 他の部会との連携を図る。
-----	---------------------------------

### Ⅲ教育文化部会

#### ☆地域のめざす姿

- ①誰もが気軽にスポーツを楽しめ、参加交流が出来る町づくり
- ②歴史深い棚田、深野和紙、松阪牛を学ぶ町づくり
- ③子どもと大人がふれあう町づくり

#### ◆現状・課題

1. 子どもを通じての行事ふれあいが少ない。
2. 地域の行事(稲荷さん、白猪さん、祇園祭)等参加が少ない

#### ◆活動(事業)計画

1. 現状・課題の解消
2. あいさつ運動
3. 棚田まつり事業
4. 地域の歴史文化学習会
5. 紙漉き体験事業
6. グラウンドゴルフ大会
7. 子どもの登下校見守り運動
8. 子どもと共にラジオ体操実施(夏休み)

活動(事業)名	実施主体			実施時期		
	地域	協働	行政	短期	中期	長期
1 現状・課題の解消	○	○		→		
2 あいさつ運動	○			→		
3 棚田まつり事業	○	○		→		
4 地域の歴史文化 学習会	○			→		
5 紙漉き体験事業	○			→		
6 グラウンドゴルフ 大会	○			→		
7 子どもの登下校 見守り運動	○			→		
8 ラジオ体操	○			→		

備 考	① → 継続的に実施する。 ② 他の部会との連携を図る。
-----	---------------------------------

☆重点目標

1. 4部会の現状課題の解消
2. 4部会の活動把握、調整
3. 行事の参加の呼びかけ
4. 五役会議、役員会議、総会の開催
5. 当協議会のPR
6. 他の協議会との交流を深める
7. 柿野住民協議会発行(年2～3回)【地域振興部会との連携】

◆活動(事業)計画

活動(事業)名	実施主体			実施時期		
	地域	協働	行政	短期	中期	長期
1 現状・課題の解消	○	○		→		
2 4部会の活動把握 調整	○			→		
3 行事の参加 呼びかけ	○			→		
4 五役会議、役員会議 総会の開催	○			→		
5 当協議会PR	○			→		
6 他の協議会との 交流会	○			→		
7 柿野住民協議会 たより発行	○			→		

備 考	① → 継続的に実施する。 ② 他の部会との連携を図る。
-----	---------------------------------



## 5. 柿野地区「地域計画書」策定までの経過

1. 平成 25 年 12 月 5 日 第 1 回柿野住民協議会「地域計画書」策定委員会設置  
(10 名委員決まる)
2. 平成 26 年 6 月 27 日 第 2 回柿野住民協議会「地域計画書」策定委員会  
(委員 1 名追加 アンケート案協議・検討)
3. 平成 26 年 8 月 1 日 アンケート実施
4. 平成 26 年 8 月 20 日 アンケート提出締切  
(集計係 5 名選任)
5. 平成 26 年 9 月 1 日 アンケート集計開始
6. 平成 26 年 11 月 7 日 第 3 回柿野住民協議会「地域計画書」策定委員会  
(アンケート集計報告)  
(重点目標 選定)
7. 平成 26 年 12 月 25 日 柿野住民協議会たより  
(第 8 号アンケート結果掲載)
8. 平成 27 年 2 月 20 日 第 4 回柿野住民協議会「地域計画書」策定委員  
第 9 回役員会合同会議 (地域計画書(案) 協議・検討)
9. 平成 27 年 3 月 10 日 第 5 回柿野住民協議会「地域計画書」策定委員会  
第 10 回役員会合同会議 (地域計画書(案) 協議・検討)
10. 平成 27 年 3 月 18 日 第 6 回柿野住民協議会「地域計画書」策定委員会  
第 11 回役員会合同会議 (地域計画書(案) 協議・検討)
11. 平成 27 年 5 月 23 日 平成 27 年度「総会」へ提出 持ち回りにて承認

## 策定委員(11 名)

- ・会長 武藤 廣(柿野住民協議会 会長)
- ・副会長 稲葉 丈治(柿野住民協議会 副会長)
- ・副会長 杉山 憲一(柿野住民協議会 旧副会長)
- ・委員  
中西 純和(柿野住民協議会 副会長)  
森本 武治  
野呂 修三  
竹岡 政治  
樹下 正  
坂口 さよ子  
西川 喜美子  
藤田 弘美

11. 令和2年3月23日

地域計画書見直し(案) 五役会議 (協議・検討)

役員(五役)

- ・会長 稲葉 丈治
- ・副会長 竹岡 春俊
- ・副会長 南 一生
- ・書記 西川 長利
- ・会計 中出 栄一
- ・事務局 武藤 廣

12. 令和2年4月24日 地域計画書見直し(案) 五役員会議 (協議・検討)

13. 令和2年5月1日 地域計画書改正(案)「書面表決書」

令和2年度役員に発送

14. 令和2年5月18日 地域計画書改正(案)「書面表決書」

令和2年度推進委員に発送

15. 令和2年5月27日 地域計画書改正(案)「書面表決書」

賛成74名 反対0名

地域計画書改正(案) 可決

16. 令和3年5月28日 地域計画書改正(案)「書面表決書」

賛成72名 反対0名

地域計画書改正(案) 可決